

一般質問

8月31日、9月1日、4日から6日の5日間にわたり、29名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。

※動画の再生には別途通信料がかかります。

生産緑地法改正を受け対応策は



おさむら 敏明 (自由民主党)

鶴間公園・融合ゾーン(C地区)の整備計画は。市長 まだ相談を持ちかけている段階ですが、民間のミュージアムを誘致し、子どもクラブ、児童館機能を複合させることを考えております。

生産緑地法の改正を受け、市の対応策を問う。山田副市長 12月定例会に一団地の生産緑地地区として指定できる面積を300平方



モノレール延伸 総力をあげて！

藤田 学 (自由民主党)

多摩都市モノレール町田方面延伸に向けて、今後市の総力をあげて取り組むべきことは何か。市長の強い思いを込めて伺う。

市長 交通政策、まちづくりの取り組みとを連動させながら全庁を挙げて進めていくために、モノレール事業推進のための庁内組織を来年度から立ち上げる方向で検討しているところでございます。

障がい者の自立を支える就労継続支援事業A型をオ



学校井戸の活用 第2すみれ教室

森本せいや (まちだ市民クラブ)

鶴間小、大戸小、本町田小の校庭芝生化散水用井戸は、災害停電時に使用できなくなる。リスクの早期解決策を求める。

子ども生活部長 具体的な検討はまだですが、現在の認可通園部門の療育内容と、その他も同等のサービスが実施できればと考えています。

移動教室時のアレルギ



地区協議会・認知症施策の推進

佐藤和彦 (まちだ市民クラブ)

地区協議会推進のため若い世代が地域に積極的にかかわってもらうことが重要だが、どうしていくのか。

市民協働推進担当部長 多くの人が触れ合えるように、今後もさまざまな世代と一緒に楽しめる事業を検討し、連携、協力体制を充実できるように支援を行っていききたい。

認知症高齢者を地域全体で支えていくために、地区



町田市の自殺対策について！

三遊亭らん丈 (自由民主党)

本年7月に閣議決定した自殺総合対策大綱を踏まえ、町田市はどのように対応していくのか。

高橋副市長 市では保健所を中心とした体制を構築していますので、この中で自殺について学んだり、情報共有をしたり、庁内連携を推進することなどで自殺対策に総合的な効果を上げていきたい。

近年、有効登録者数が



学校給食の無償化を求め

松葉ひろみ (公明党)

子育て家庭支援として、まずは第2子以降の学校給食費の無償化を求めるが。

学校教育部長 現時点で多子世帯への給食費補助等は考えていませんが、国や都の動向に注視して研究したい。

子ども生活部長 18年度までに協議会を立ち上げ、同年度内を目途に安全な医療的ケア児の保育園等への受け入れについて検討していききたい。



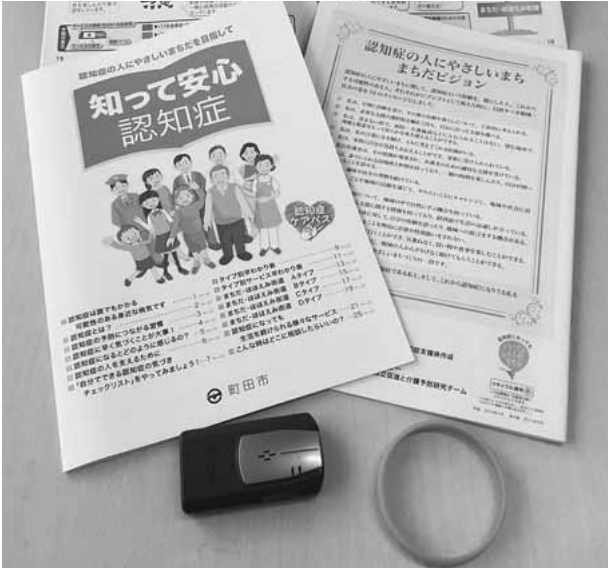
認知症にやさしいまちづくり

若林章喜 (自由民主党)

町田市の認知症施策は国や全国の自治体からの評価が高い。積極的に広報していくべきかどうか。

いきいき生活部長 17年いろいろなメディアを通じて取り上げられています。今後も市内外に広く知っていただけよう発信していききたい。

陸上競技場の大型映像装置の活用について問う。山田副市長 迫力ある映像



市で貸し出しを行っている位置情報端末機器 (写真 左手前)



スポーツ大会で地域活性化を！

山下てつや (公明党)

町田市内では、さまざまなスポーツ大会が開催されている。地域活性化へ向けた展開を強化すべき。

文化スポーツ振興部長 大会の周知と推進体制を統一的に展開することで大会を盛り上げ、町田市全域が活性化できる仕組みを構築できるように検討していきます。

調整区域における住み



学力向上に向けた取り組みは

わたべ 真実 (まちだ市民クラブ)

学校内でのような取り組みがあるか。

学校教育部長 学力向上推進委員会を設置し、学力向上の検討や提案を行っています。また、市内の教員に普及啓発を行い、学力向上に向けた取り組みを進めています。

授業以外の場面ではどのように取り組んでいるか。



女性活躍の推進で町田に活力を

石井くにのり (まちだ市民クラブ)

中学校給食は、市全体の政策として、女性活躍という視点を持ち、子どもがワクワクして注文したくなるものを目指しては。

政策経営部長 女性の活躍を推進する必要があると認識しています。女性の活躍あるいは子育て世代の支援につなげるために、引き続き教育委員会とも連携していききたい。

ファミリーサポートの